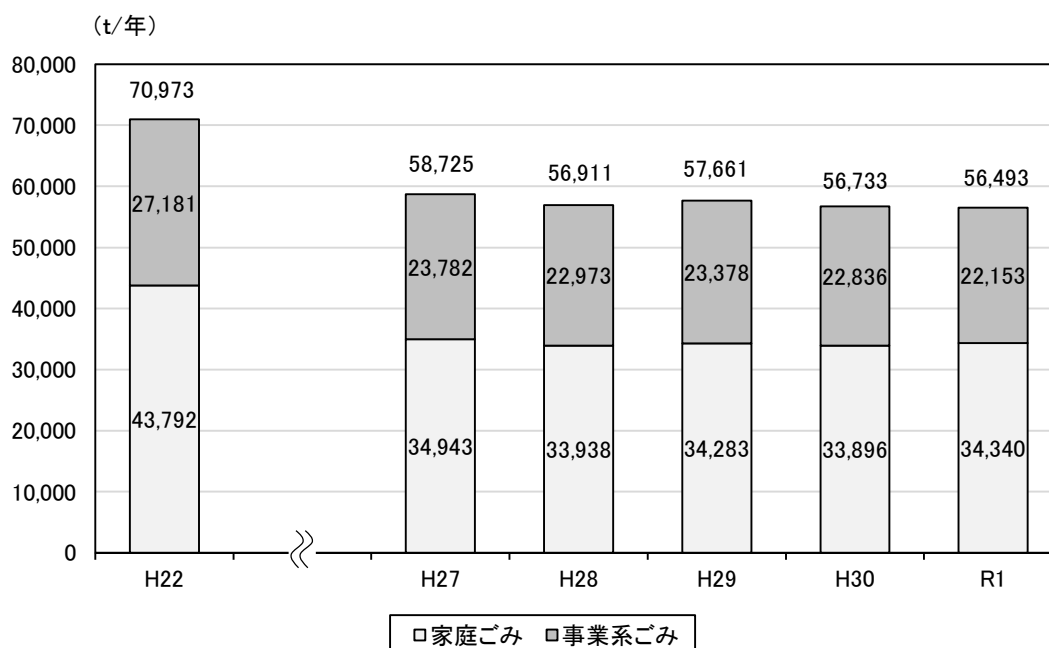


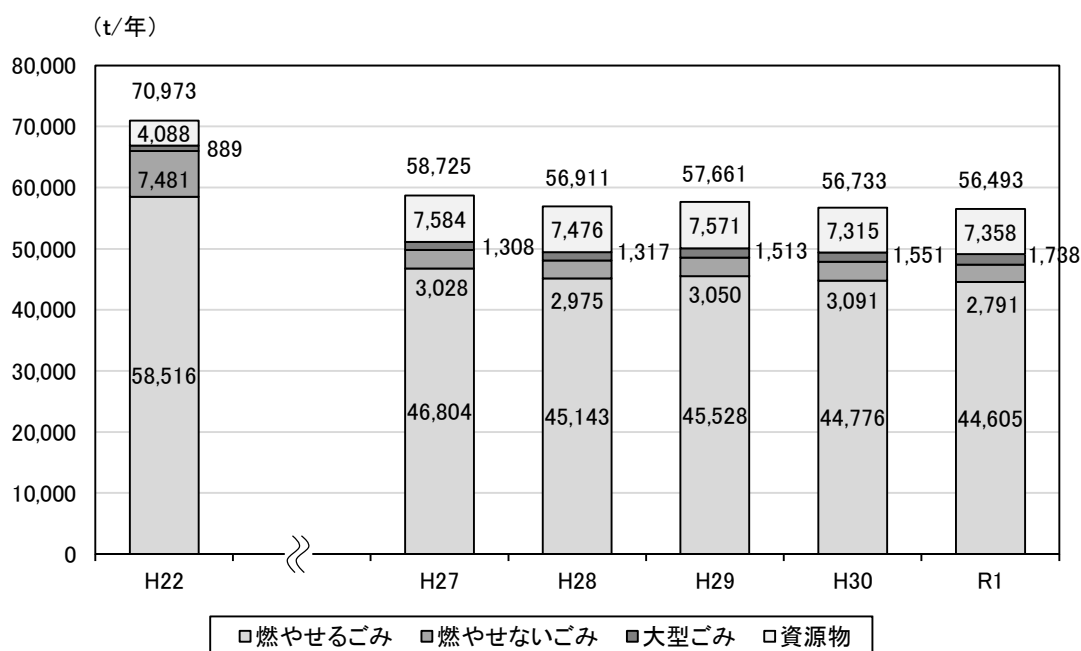
一般廃棄物の推移

1 ごみ排出量の推移 (計画案 P.9 参照)



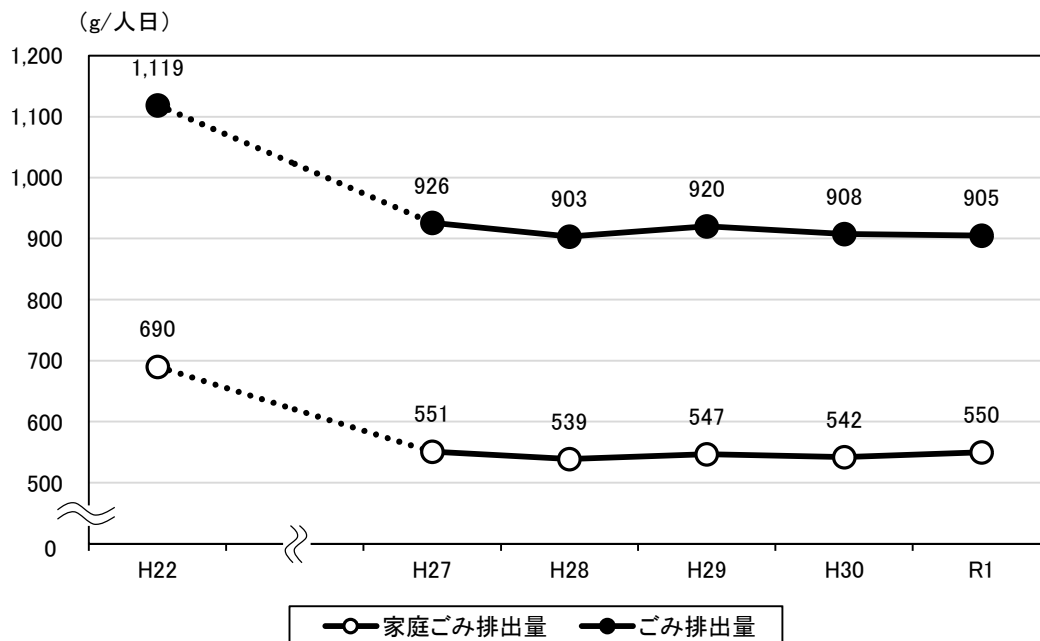
なお、令和2年度のごみ排出量（4月から11月の速報値による）は、コロナ禍による外出自粛などの影響により、家庭ごみに対前年同期比4.8%増、事業系ごみに対前年同期比7.3%減、全体増減なしとなっております。

2 種類別ごみ排出量の推移 (計画案 P.10 参照)



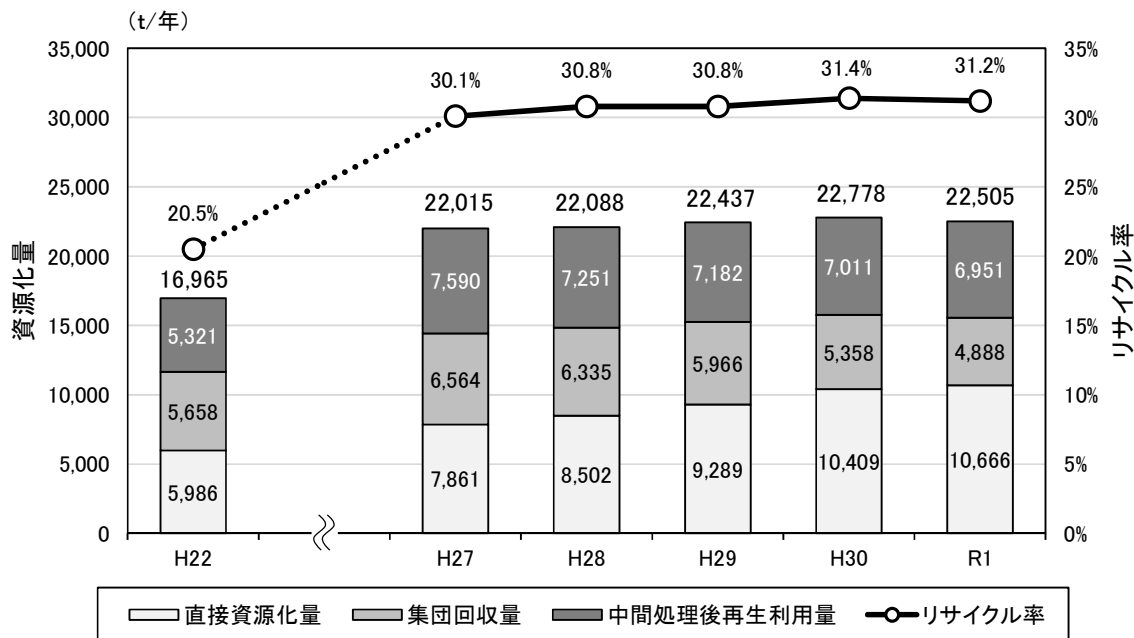
主な増減として、家庭から排出される燃やせるごみに対前年同期比3.3%増、燃やせないごみが33.0%増となっており、ステイホーム期間中に各家庭で断捨離が進んだものと考えている一方、事業系から排出される燃やせるごみが7.8%減となっており、事業活動の減少に影響を受けているものと考えております。

3 1人1日当たりのごみ排出量の推移 (計画案 P. 11 参照)



コロナ禍の影響で家庭ごみの排出量が増加したことにより、令和2年度の1人1日当たりごみの排出量(4月から11月の速報値による)は601gとなっている。

4 資源化量及びリサイクル率の推移 (計画案 P. 12 参照)



$$\text{リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{中間処理後再生利用量} + \text{直接資源化量} + \text{集団回収量}}{\text{ごみ処理量} + \text{直接資源化量} + \text{集団回収量}} \times 100$$

本市は平成26年度以降、6年連続で道内主要都市のなかでリサイクル率1位となっている。